

関西光科学研究所(令和2年10月30日発行)

メッセージ

今月に入り、いよいよQSTでも外国人研究者を受け入れた拠点での研究がスタートする。かつて海外の研究者が廊下を往来した光景が早晚帰ってくる。また、そうなるように努力が続けられている。昨年の今頃は現在の世界の状況など想像もつかなかったのだが、自由に研究者が出入りできた頃が憶われる。関係することであるが、世の中ではコロナを受けてDX(デジタルトランスフォーメーション)技術の導入が求められている。DX技術が十分になれば、例えば海外の遠隔地に居ながら、木津のJ-KAREN-Pを使って行う実験で実際の実験装置を操作し、そこで取れるデータを遠隔地にて引き揚げ、速やかにデータを分析し、web会議で繋がりながら実験の進め方にリアルタイムに関わることができるようになる。実際に、このようなスタイルによる研究は、特に国際的な協力の下に進められる分野では、常識なのかもしれない。一方で、遠隔地におけるデータ取得は、客観的には情報の機関外への持ち出しであり、そのような情報の扱い方に細心の注意を払う、すなわち然るべき規制の下に管理されなければいけない。情報漏洩はあってはならない事象であり、DX技術に関しては、これが絶対に発生しないこととセットで進められなければならない。このようなことを意識しつつ着実なDX技術の導入の加速が求められているのだと思う。私自身、長らくプログラムを自ら書くことから遠ざかってしまっているのであるが、今は紙と鉛筆で物理が議論できることと同時に、コンピュータを用いた計算結果も合わせた議論ができないのでは話にならない時代であって、さらには実験データの取得や解析も然りか。一方で、紙と鉛筆の議論はできないが後者は得意ということも考えられるのであるが、ここは少し議論があるところではないだろうか。

【光量子科学研究部長 近藤 公伯】

2020年10月の主な動き

10月27日(火),28日(水) けいはんなビジネスメッセ2020

今後の主な予定

11月5日(木)～7日(土) けいはんなR&Dフェア

11月20日(金) 日本顕微鏡学会第63回シンポジウム「微細構造解析プラットフォーム特別講演会」(web開催)

12月3日(木) 文科省ナノテクノロジープラットフォーム微細構造解析プラットフォーム令和2年度第1回地域セミナー:産総研-原子力機構-量研合同セミナー(web開催)

【きつづ光科学館ふおとん】

きつづ光科学館ふおとんは、新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休館しております。また、関西光科学研究所(木津地区)で開催しているS-Cube、施設見学の受入も停止中です。今後の予定については決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

○きつづ光科学館ふおとん

Webサイト:<https://www.qst.go.jp/site/kids-photon/>

Youtube: <https://www.youtube.com/channel/UC2xgeump6cehlSreH7zjIBQ>

○関西光科学研究所 見学等案内Webサイト:

<https://www.qst.go.jp/site/kansai-overview/2527.html>



関西研ホームページ <https://www.qst.go.jp/site/kansai/>

関西研だより <https://www.qst.go.jp/site/kansai-topics/2528.html>

関西研ブログ <https://www.qst.go.jp/site/kansai/31978.html>

関西研YouTube https://www.youtube.com/channel/UCGQohC8igUdeiFTx_1KhtA

関西研Facebooks <https://www.facebook.com/KPSIkouhou/>

関西研twitter https://twitter.com/kpsi_kizu

イベント報告:OPTO2020(Web開催)

【開催報告】光・量子ビーム科学合同シンポジウム2020 (OPTO 2020)

2020年9月29日(火曜日) COVID-19の影響により延期されておりました「光・量子ビーム科学合同シンポジウム(OPTO 2020:第4回)を大阪大学レーザー科学研究所と合同開催いたしました。

今年度はCOVID-19感染症対策もあり、初めての試みとしてWeb開催としました。参加は事前登録制(160名)とし、口頭発表(招待講演、若手ポスター賞受賞講演、大阪大学近藤賞受賞講演)を行いました。

招待講演では、宇宙惑星科学へ、テラヘルツ生命科学、高強度場物理(レーザー加速)等、幅広く高強度レーザー分野の研究成果を発表いただきました。またポスターセッションについては開催1週間前から閲覧可能とし、若手ポスター賞の審査も並行して行いました。

初めてのWeb開催ということで、招待講演者の先生型との事前接続の練習があったり、ポスター閲覧のパスワード設定(かつ、ダウンロード・印刷禁止)等について阪大レーザー研の事務局の方にご協力いただき、無事開催することができました。



OPTO2020 ポスターサイトの様子 (モニター 2020年9月)



若手ポスター賞受賞者(2名)

左:小島完興(QST)、中:宮坂泰弘(QST)、河内所長

光・量子ビーム科学合同シンポジウム 2020 Opto 2020 Symposium on Photon and Beam Science

Web開催
(Cisco WebEx event)

【プログラム program】

2020年9月29日(火曜日) 13:00~ 17:30

発表者 (敬称略) 所属

13:00- 13:05	開会挨拶 Opening Remarks	河内 哲哉 Tetsuya Kawachi	量研KPSI
【Session 1】トピックス (4件) 座長: 近藤 公伯 (量研KPSI) Topics (invited talk) Chair person: Kiminori Kondo, KPSI-QST			
13:10- 13:50	招待講演 1: Laboratory exploration of planetary materials using high power lasers	奥地 拓生 Takuo Okuchi	京大(熊取) Kyoto-U
13:50- 14:30	招待講演 2: The manipulation of intracellular assemblies of proteins by Terahertz wave irradiation (参考訳: テラヘルツ光を利用した細胞内タンパク質構造)	山崎 祥也 Shota Yamazaki	理研RAP RIKEN
14:30- 14:40	休憩 Break		
14:40- 15:20	招待講演 3: GeV class laser wakefield electron acceleration using the J-KAREN-P laser	Huang Kai	量研KPSI
15:20- 16:00	招待講演 4: Laser-driven Ion Acceleration for High Energy Density Physic	Alessio Morace	阪大ILE
16:00- 16:30	休憩		
【Session 2】ポスター賞受賞講演・大阪大学近藤賞受賞講演 座長: 余詔 寛文(阪大ILE) OPTO 2020 Young Poster Award, Osaka University Kondo-prize, Chair Akifumi Yogo, ILE Osaka-U			
16:30-16:35	ポスター賞・受賞者および審査結果等の説明 Introduction of judges / winners		
16:35-16:40	ポスター賞 1 Young Poster Award 1 “次世代小型加速器のためのレーザー駆動イオンの高線り返し発生”	宮坂泰弘 Yasuhiro Miyasaka	量研KPSI
16:40-16:45	ポスター賞 2 Young Poster Award 2 “Study of SiC ceramic mirror for high-power laser system”	小島完興 Sadaaki Kojima	量研KPSI
16:45-16:50	近藤賞の受賞理由等の説明 Introduction of Osaka University Kondo prize, Winners ※ https://www.ile.osaka-u.ac.jp/ja/education/kondo-winners		
16:50-17:05	近藤賞受賞者記念講演・論文賞: “Comprehensive research on analysis and control of spatiotemporal characteristics of ultra-intense short-pulse lasers”	Zhaoyang Li, Osaka-U	阪大ILE
17:05-17:20	近藤賞受賞者記念講演・技術貢献賞: 屋外でも使える高エネルギー・高線り返し/レズレーザー技術の開発	Noboru Hasegawa QST(他4名)	量研KPSI
17:20-17:30	閉会挨拶 Closing Remarks	兒玉 了祐 Ryosuke Kodama	阪大ILE

※時間は目安で発表には質疑時間を含む。

OPTO2020シンポジウム(口頭発表セッション)のプログラム

【研究企画部(木津駐在) 織茂 聡】

イベント報告

【出展報告:けいはんなビジネスメッセ2020】

10月27日(火)、28日(水)の2日間、QST関西光科学研究所として標題のイベントに出展しました。これまでは、「けいはんなプラザ」や「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」での開催でしたが、今年度は初めてのバーチャル開催となりました。

関西光科学研究所からは、バーチャル展示室へパネル2枚掲示(高強度レーザー応用等1枚、関西研施設共用紹介1枚)及び、来場者個別のチャット対応を行いました。2日間で50名近くの方にご訪問いただき、23名の方々にチャットにご参加いただきました。

チャットの例としては、研究所アクセス方法、関西光科学研究所(木津地区)一般公開、重粒子線治療と標準治療、きつづ光科学館ふおとん、等々、多岐にわたる内容でした。また、今回はチャットボット設定(チャットへのアクセス・質問に対して想定問答を登録、簡単な質問にたいして自動的返答する仕組み:24時間・365日対応可)等、担当者の非対応時間中の対応も兼ねた準備を行いました。また、同時開催である、京都スマートシティエキスポ2020においては、講演会(ライブ配信)や、バーチャルラボツアー等が開催されました。

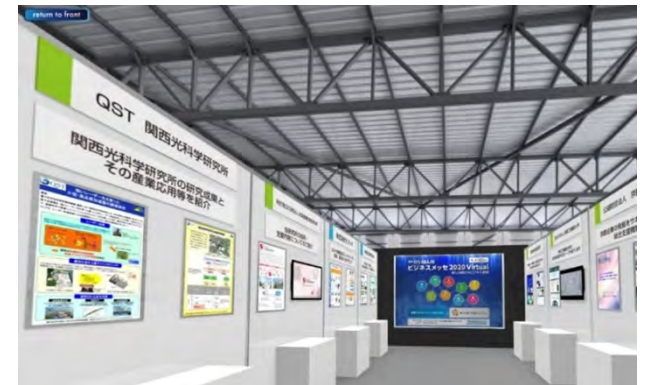
今後、バーチャル開催は増えてゆくと予想され、訪問記録などもデータとして残ります。より効果的なアウトリーチ活動など対応してゆきたいと考えています。



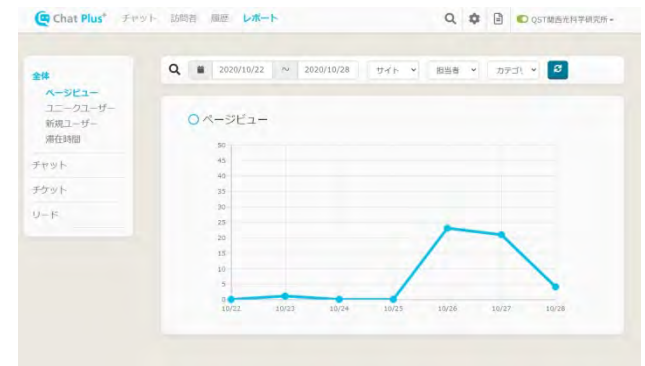
開催のメインページ(Webサイト画像)
<https://expo.smartcity.kyoto/>



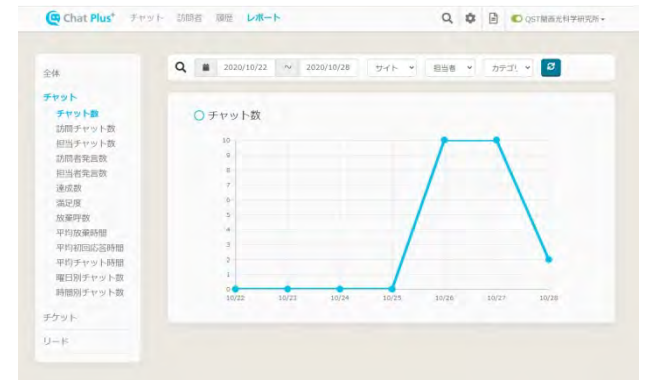
第15回けいはんなビジネスメッセ2020Virtual
※展示ブースについては、11月13日まで公開。



展示会場:バーチャルスペース(左側:QST関西研ブース) ポスター2枚とチャットへの入口があります。



QST関西研の展示ブースへの訪問者数推移



ブース訪問者のうち、チャット室への入室者数

【研究企画部(木津駐在) 織茂 聡】

第16回QST播磨セミナー

10月21日(水)開催のQST播磨セミナーにて「電気分極が誘起する強誘電体のバンド傾斜構造の直接観測」を紹介しました、押目典宏です。私は大学院生の頃から継続して、従来の「強誘電体＝絶縁体」という視点ではなく「強誘電体＝半導体」と捉え、強誘電性を電子構造から直接理解することを試みてきました。なかでもバンド傾斜構造は強誘電体の最も特徴的な半導体物性として予測されていた現象です。

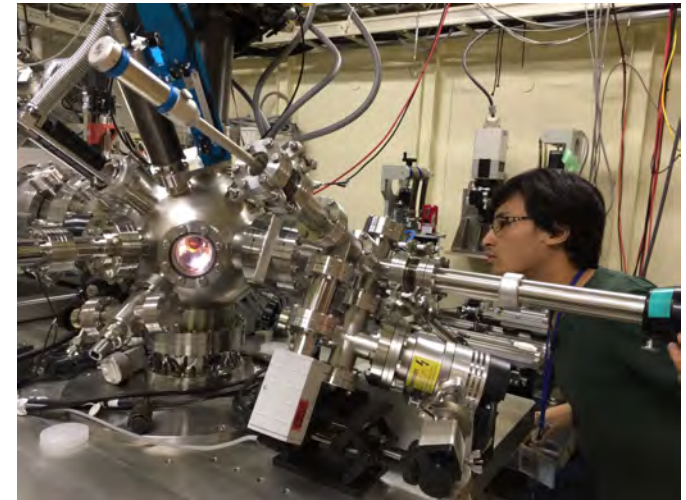
空間の反転対称性破れが生じる強誘電体は、構造相転移温度 T_c 以下で電気分極を形成します。電気分極は強誘電体結晶内部に電場を作り、分極配向軸に沿って内殻電子や価電子のエネルギー準位を順番に変動させます。こうして誘起される強誘電体の傾斜したバンド構造は40年以上前に予想されていたものの、これまで実証されていませんでした。私は近年確立された、①単一分極ドメイン構造をもつ強誘電体製膜法、②広角対物レンズを組み込んだ角度分解硬X線光電子分光(AR-HAXPES)法を組み合わせれば、バンド傾斜構造の直接観測が可能になるという着想を得ました。この構想を実施し、世界で初めて強誘電体のバンド傾斜構造を観測しました[1]。さらにAR-HAXPES装置に交流および直流の電場印加が可能な試料セルを組み込み、分極反転前後のバンド傾斜構造の変化を観測することに成功しました。

量研に着任した今年4月以降は、コヒーレントX線を用いたBraggコヒーレント回折イメージング(Bragg-CDI)法の技術開発に着手しています。新学術領域研究ハイドロジェノミクスの一環として、パラジウムなどのナノ結晶へどのように水素が侵入しているか、Bragg-CDI法で得られた一粒子の内部構造からの議論を試みます。

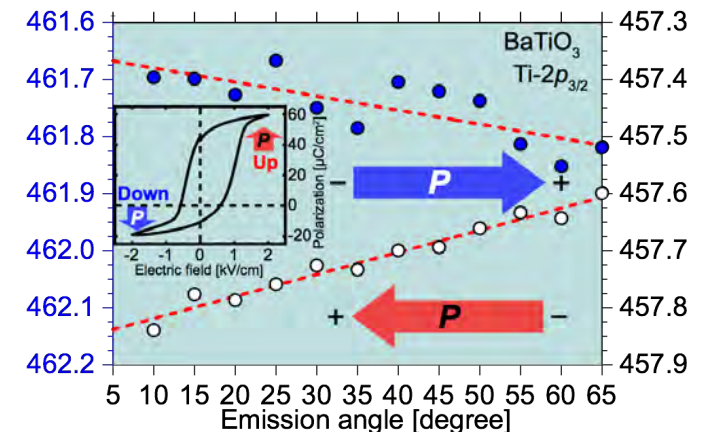
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

[1] Norihiro Oshime, Jun Kano, Eiji Ikenaga, Shintaro Yasui, Yosuke Hamasaki, Sou Yasuhara, Satoshi Hinokuma, Naoshi Ikeda, Pierre-Eymeric Janolin, Jean-Michel Kiat, Mitsuru Itoh, Takayoshi Yokoya, Tatsuo Fujii, Akira Yasui, and Hitoshi Osawa, *Sci. Rep.* 10, 10702 (2020). (プレスリリース)

http://www.spring8.or.jp/ja/news_publications/press_release/2020/200703/



AR-HAXPES装置と押目 @BL47XU, SPring-8



電気分極 P の反転 (図中央左の履歴曲線) に対応して、バンド傾斜がスイッチングすることがわかった。

放射光科学研究施設 2020年度第1回(2021A期)利用課題の定期募集(予告)

量研は文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の実施機関として、また、自主事業(施設共用制度)として、保有する施設・設備を広範な利用に供しています。2021A期分の放射光科学研究センターの共用施設の利用課題を例年通り11月に公募する予定です。

募集期間: 2020年11月2日(月)-30日(月)(予定)

対象期間: 2021年4月-7月(予定)の放射光実験期間

対象施設: 以下の共用施設

QST極限量子ダイナミクスⅠビームライン(BL11XU)

- ・放射光メスバウアー分光装置
- ・共鳴非弾性X線散乱装置
- ・表面X線回折計

QST極限量子ダイナミクスⅡビームライン(BL14B1)

- ・高温高压プレス装置

JAEA重元素科学Ⅰビームライン(BL22XU)

- ・ダイヤモンドアンビルセル回折計

【問合せ先】

e-mail: ml-qst-nanoinfo[at]qst.go.jp

TEL: 0791-58-2640 FAX: 0791-58-0311

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

量子ビーム科学部門 研究企画部(播磨地区)

QST微細構造解析プラットフォーム事務局

URL: <https://www.kansai.qst.go.jp/nano/>



SPring-8 量研放射光ビームライン BL11XU



SPring-8 量研放射光ビームライン BL14B1

【量子ビーム科学部門 研究企画部(播磨地区) 次長 安田 良】

ふおとん一部再開準備中

きっづ光科学館ふおとんでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と感染リスクの低減を図るため、2月27日より全館休館の措置を行ってきました。今般、量研主催イベント等の開催自粛の緩和の決定を受け、科学館の一部再開(プラネタリウムの上映)に向け、準備を進めています。

サーマルカメラの設置

来館者に距離をとって
 並んでいただけるよう、
 ロビーを片付けました

フロアマーキングも準備中

玄関前タイル磨きと
 高圧洗浄、草刈り

プラネタリウムの座席制限

新規映像コンテンツ

特別高圧電気設備点検作業(木津地区)

関西光科学研究所(木津地区)では、電気設備の正常な機能維持や電力の安定供給のため、関西光科学研究所電気工作物保安規程に基づき作業の安全手順を明確にした「電気工作物に関する作業等の実施計画書」を作成し計画的に特別高圧電気設備点検を行っています。

特別高圧電気設備点検作業の主な内容は、特高変電所等に設置している特別高圧・高圧受電設備(中央監視室・遠方監視制御装置を含む)及び無停電電源装置について、点検業者に依頼して停電時で行う事が出来ない70,000V、6,600Vが充電している機器の点検及び清掃、動作試験等による設備機能確認を行っています。

今後も関西光科学研究所の無事故・無災害に向けて「安全最優先」の意識を忘れずに作業を行っています。



停電前電圧確認(屋内電気室)

安全保護具、検電器確認ヨシ！！
本日もご安全に



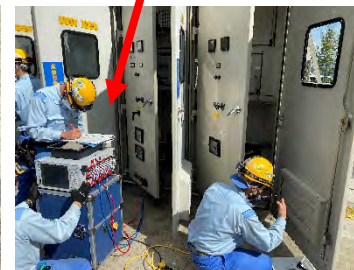
配電盤内点検清掃
(小動物等の侵入確認も行う)



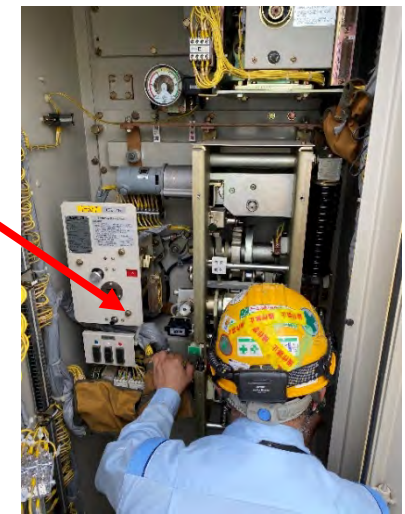
外観点検及び清掃



遮断器点検
(機器や電力系統異常時に回路遮断を行う)



OCR試験
(過電流保護継電器)



GIS点検(ガス絶縁開閉装置)

【管理部 工務課 片岡 尚吾】

木津地区施設周辺美化運動の実施について

10月21日(水) 12:15～12:45(昼休憩中)、毎年度2回実施しております木津地区施設周辺美化運動を実施しました。前回は6月24日に実施しました。

今回の美化運動では、きつづ光科学館ふおとの前から関西研正門前、関西研東敷地境界までの側沿道において主にゴミ拾いを行いました。参加者は光量子科学研究部及び量子生命科学領域のボランティアの方々です。多数の方々の参加をいただき、多くのゴミ類(可燃ゴミ、資源ゴミ(空き缶、ペットボトル)等)を回収しました。なお、COVID-19感染症対策を行っての美化運動となりました。

今後も美化運動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



美化運動の様子

読み物

関西光科学研究所近隣の城跡を訪ねて

勝竜寺城：京都府長岡京市（「麒麟が来る」に登場する明智光秀ゆかりの城。細川藤孝が城主を務めた。）

1. 城の歴史

室町時代初期に細川頼春により築城と伝わり（真偽不明）、当初は館として利用されていたと考えられる。織田信長の時代には、三好家との攻防の舞台となり、信長による畿内掃討後は細川藤孝（幽斎）が城主となり、全面改修された。本能寺の変に続く山崎の戦いの中で、明智光秀の本陣がおかれたが、その後放置。

江戸時代初期に永井氏が城主となったが、永井氏の転封に伴い廃城となった。

2. 城の遺構

現在勝竜寺城公園となって公開中。本丸の一部には、土塁と水堀が残っているが、建屋は全て模擬されたものである。本丸の模擬櫓（管理棟）には資料展示室がある。



（虎口（こぐち）跡から見た模擬櫓）

3. 城の性格

河内国（大阪府）方面の侵攻勢力を山崎の隘路で迎撃するための拠点と位置づけられる。このことは山崎の戦いの折に明智光秀の本陣となったことで実証された。

しかしながら、戦国時代の他の城に比べて小規模であり、近隣に要害も少ないことから、城を舞台とした戦には向かず、統治の中心である地域政庁としての性格が強かったものと考えられる。

なお、余談であるが、明智光秀の娘（玉。「細川ガラシャ」として有名）が細川家に輿入（嫁いだ）したのは、この城である。

4. アクセス

JR京都線長岡京市駅から徒歩約15分。公園用に数台の駐車場有。
関西光科学研究所（木津地区）から京奈和道を経由して約1時間。



（御城印）



（模擬隅櫓：もぎすみやぐら）

読み物

関西光科学研究所近隣の城跡を訪ねて（番外編「麒麟が来る」特集）

現在放映中の大河ドラマ「麒麟が来る」では京都が舞台になってきた。今後の物語では、丹波国（京都北部・兵庫北東部）及び近江国（滋賀県）が明智光秀が活躍する舞台として登場すると考えられる。そこで今回は、そこで取り上げられるであろう明智光秀ゆかりの城2つを番外編として紹介したい。何れも関西光科学研究所（木津地区）から1時間程度の距離にある。

1. 坂本城（滋賀県大津市）

比叡山焼討の功により、領地として近江国滋賀郡（現在の大津市周辺）を与えられた明智光秀が、統治の中心として琵琶湖に面する形で築いた水城（湖に面した城）である。

往時には天守があり、宣教師のフロイスは、この城を織田信長の安土城に匹敵すると記録しているが、本能寺の変に伴う騒乱の際、明智秀満により建屋は焼き払われた。

その後城は再建されたが、近隣の大津城築城に伴い14年の生涯を終え廃城とされた。遺構としては、琵琶湖の中に残る石垣の跡と城門として伝わる西教寺の総門がある。アクセスは、JR比叡山坂本駅から徒歩約15分。坂本城址公園内には駐車場がある。



（西教寺総門：坂本城城門と伝わる）



（天守台：下部が光秀時代の石垣）

2. 亀山城（京都府亀岡市）

織田信長より丹波国の攻略を命じられた明智光秀が、丹波国の統治の中心として亀岡盆地の中心である亀山に築いた平山城（小高い丘に築かれた城）である。

福知山城など明智光秀が丹波国に築いた城は他にもあるが、この亀山城が最重要拠点であり、明智光秀の軍勢が本能寺に向かったのもこの城からである。

遺構としては、石垣の一部と千代川小学校の校門に移築された長屋門がある。

城域は現在大本教の管理下にあり、見学には許可が必要。令和3年1月11日までの期間限定で近隣のサンガスタジアム内には大河ドラマ館が開館中である。

アクセスはJR亀岡駅から徒歩約15分。近隣には有料駐車場がある。



契約に必要な法律知識

【第7回 債務不履行について②】

1. 相手が債務不履行のとき① ～履行の請求～

履行遅滞の場合は、債務がまだ履行されていない、つまり債務がまだ存在しているので、債務者に対して債務を履行するよう請求することができます。

不完全履行の場合は、債務者に対して完全な履行（追完）を請求することができます。



履行不能の場合は、そもそも履行することが不可能なので、履行を請求することはできません。他の手段で相手方の責任を追及することになります。

なお、債権者(QST)は、債務者の債務の存在を立証すれば足ります。そもそも債務が発生していない、既に履行済みで債務は消滅したなど、QSTの主張への反論(否認や抗弁)は債務者が立証責任を負います。

3. 相手が債務不履行のとき③ ～契約解除～

債権者は、相当の期間を定めて債務者に履行を催告し、期間内に履行がない場合は契約を解除することができます。

また、催告しても功を奏さない場合は、催告なしで直ちに契約を解除することができます。



「相当の期間」とは、客観的事情(債務の種類など)からみて債務者が履行するのに必要な期間です。債務者の主観的事情(旅行中など)は考慮しません。

例: 1. 債務の全部が履行不能のとき。

2. 債務者が全部の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。

3. 特定の時期に履行されなければ契約の目的が達せない場合で、その時期を経過したとき。 など

契約解除は債務者に帰責性があるか否かを問いますが、不履行が軽微な場合や、債権者に帰責性がある(債権者のせいで履行できなかった)場合は、債権者は解除できません。

イベント用の景品の購入なのに、イベント当日を過ぎてしまった場合など

皆さんこんにちは。経理・契約課の島田です。

今回は債務不履行の種類についてお話ししました。今回は、債務者が履行してくれない場合に債権者(QST)が採り得る手段についてご説明します。

2. 相手が債務不履行のとき② ～損害賠償請求～

債権者は、債務者の不履行のせいで損害が生じた場合、債務者に対して、その損害の賠償を請求することができます。

ただし、天変地異が原因であるなど、社会通念上、債務不履行について債務者に責任(**帰責性**)がないときは、損害賠償請求はできません。



なお、債権者(QST)は、債務者の不履行(債務の存在と履行期の経過)や、これによる損害の発生を立証する必要がありますが、債務者の帰責性を立証する必要はありません。

金銭債権の場合は、損害を立証しなくても「遅延損害金」を請求できます。

債務者の帰責性(がないこと)は、債務者が立証責任を負います。

債務は本来履行されるべきなので、債務者の帰責性が推定されます。

【損害賠償について補足】

* 契約を解除すると、契約は原則として最初からなかったことになり(遡及的に消滅)、債務者の債務は消滅しますが、損害賠償請求をすることは可能です。

* 債務不履行又はこれによる損害の発生若しくは拡大に関して、債権者に過失(帰責性)があった場合は、過失相殺の対象となります。

債権者と債務者は本来的に対等なので、裁判所は、債権者に過失があれば必ずこれを考慮して、(債務者の)損害賠償責任の有無とその額を定めます。

4. 最後にワンポイント

債務不履行が生じた場合、相手方にも言い分があったり、機構側にも過失があったりと、泥沼の争いになり、解決に時間と労力を要する可能性があります。場合によっては訴訟に発展することもあり得ます。争いになりそうな場合は要求部だけで解決しようとせず、早めに経理・契約課にご連絡ください。

人事往来

伊藤 幸久(いとう ゆきひさ)技術統括

管理部 保安全管理課(播磨) 令和2年10月1日着任

放医研保安全管理課より播磨地区の保安全管理担当として参りました。西日本に所在する職場への異動は、福井県敦賀市以来30数年ぶりとなります。単身赴任は水戸市、東海村に次いで3回目です。着任以来、晴天の日が多く、自然豊かな播磨の美しい景観を楽しんでいます。趣味は高校野球観戦です。健康増進のため、播磨の皆様と一緒に、野球、サッカーほかスポーツも一緒に出来たら幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



人事往来

高橋 有史(たかはし ありふみ)主査

研究企画部(播磨) 令和2年10月1日着任

六ヶ所核融合研究所より参りました高橋です。QST創立時から3年間東海の研究企画室に在籍しており、2回目の量子部門です。よろしくお願いします。近々には兵庫県下69日本酒蔵制覇を目指します。休日は美味しい魚を求めて太公望となり、波が良ければSUPで海上散歩を楽しみ、RoadBikeも乗りつつ、長年続けているホッケーもしなければなどと思っています。何か楽しい新しい事もやってみたいと思っています。



人事往来

福田 麻美(ふくだ まみ)

研究企画部 令和2年10月1日着任

10月より本部人事課から関西研研究企画部に着任しました福田です。

関西出身で、きつづ光科学館には幼い頃よく来た記憶があり、思い出の地で勤務することができてうれしく思います。

研究企画部の仕事は初めてで慣れないことも多く、至らない点もあるかと思いますが、今度ともよろしくお願いいたします。



人事往来

木村 美優(きむら みゆう)

管理部 庶務課 令和2年10月1日着任

10月に那珂研の経理課から関西研の庶務課に異動してきました木村です。

初めての関西ライフで緊張している状況ではありますが、早く環境に慣れ満喫したいと思っています。

不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、日々勉強しつつ業務を進めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。





大型放射光施設Spring-8
蓄積リング棟上に広がる夕焼け



大型放射光施設Spring-8 野草の群生



大型放射光施設Spring-8 路傍に現れたキノコ



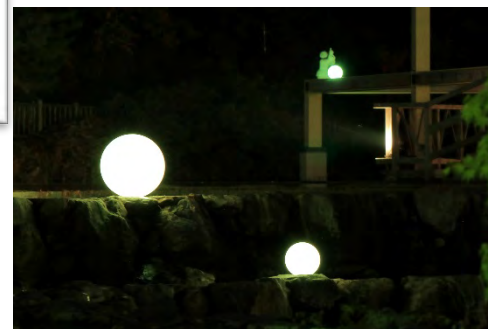
ギャラリー(木津)



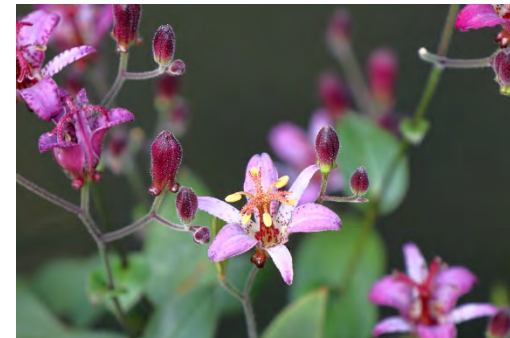
旧邸御室の一角(テーブルは花梨の木で作ったものを漆で何重にも塗ったもの)
【撮影:管理部長 和泉 圭紀】



けいはんな記念公園にて
【撮影:研究企画部 藤澤 祐子】



お月見のライトアップイベント



ホトギスの花



芋ほりの秋(木津川市の畑にて)
【撮影:庶務課 井上 茜】

編集後記:「○○の秋」

秋になれば、よく「○○の秋」という言葉を目にしますが、それぞれ呼ばれ始めた理由があるそうです。
例えば「読書の秋」は、西暦700年代後半に生きた古代中国・唐の韓愈という文人が読んだ「灯火親しむべし」(秋は過ごしやすい季節なので、夜には明かりを灯して本を読むのに最適だ)という詩を、夏目漱石が小説「三四郎」の中で取り上げたことで、読書の秋が広く浸透したとも言われています。その漱石も、「秋の山 静かに雲の 通りけり」と詠んでいます。
彼もまた、この悠々とした季節が好きだったのかもしれない。

(庶務課 長澤 英和)